

第43回NHK杯カーリング選手権大会  
新型コロナウイルス感染症対策マニュアル

- 1 大会2週間前からの健康チェック表及び行動記録表を受付時に提出する。
- 2 本大会10日以内及び大会期間中に感染が疑われる場合、あるいは1週間以内に感染が疑われる方の濃厚接触者（同居家族や身近な友人）である場合は、出場できない。
- 3 カーリングホール入館時は手指消毒・検温を行う。
- 4 競技中を除き、マスクの着用を義務付ける。
- 5 各試合の出場チームは試合開始30分前から入館可能。検温などを実施し、2階観覧席まで移動する。観覧席ではソーシャルディスタンスを保つ。試合開始のアナウンスで観覧席から移動し、競技ホールに入場して試合を開始する。
- 6 試合終了後には、各チームは必ずチームが使用したストーンのハンドルを消毒液が付いたペーパータオルで消毒する。
- 7 カン・ペットボトルなど個人のごみは、必ず持ち帰る。
- 8 試合終了後は、速やかに退館する。
- 9 試合前のアップや食事、試合後のミーティングは、スポーツセンターのアリーナやロビーを利用する。
- 10 スポーツセンターでは、マスクの着用や他のチームとの距離を保つ。
- 11 ホールに、ブラシや荷物などを預けない。
- 12 大会中を含め、大会までの期間で感染拡大が広がり、全道および全国的に何らかの制限が出された場合、大会を中止する場合がある。
- 13 出場選手及びコーチ・スタッフは大会期間中、試合以外は受付時に配布したネームタグを付ける。
- 14 試合のないチームは、他のチームの試合を観覧することはできない。
- 15 カーリングホールの更衣室は使用できない（更衣室はスポーツセンターの更衣室を開放する）。
- 16 すべての大会参加者（コーチも含む）に、抗原検査を実施する。  
※費用は実行委員会で負担。  
詳細については、参加チーム決定後、チームの代表者に通知する。